



カンボジアの教育支援

善意の文房具 5万点集まる

オフィス用品販売会社の「カスターネット」（京都市南区）が、カンボジアの小学校に贈るために集めていた中古文房具が五万点に達し、今月末にもNGO（非政府組織）を通して同国に送られることになった。企業や家庭で使われていない

中心に協力を呼び掛け始めたところ、全国の市民や団体などからも文房具が続々と寄せられるようになった。

送料にあてるため、コピー機の使用済みトナーカートリッジを回収し製造業者に売却する取り組みも同時に

ながら、鉛筆は五十本ずつ、ノートは十冊ずつーなどと、新旧を確認しながら生徒は作業にいそしんでいた。

ボランティアを始めた結果、「社会貢献をしている企業と取り引きしたい」と得意先が増える一面も、「職員で食べてほしい」と菓子

市民や企業が協力

南区のオフィス用品販売会社 今月末にも送付

文房具が「再生」する日も近く、同社では最後の仕上げ作業に励んでいる。

営業活動を通じ、企業内で眠る文房具の多さを実感していた同社では、企業の中古文房具を回収してカンボジアのプレックスパイ小学校に贈ることを計画。昨年三月下旬から取引先を

進行。目標の文房具五万点がこのほど集まり、現在同小に送る準備を進めている。

が送られてくるなど市民からの応援も熱く、植木社長は「日本人の温かい気持ちを大きくしたい。事業的に

二十二日には伏見区の藤森中一年の生徒二十五人が同社を訪れ、クラスごとに集めた文房具を手渡すとともに仕分け作業を手伝った。植木力社長（四四）に聞き

も一石三鳥以上で、継続的に活動が続けたい」と話している。文房具やトナーカートリッジも募集中で、連絡先は同社☎075（681）9100。

1）9100。